

地区の新たな取り組み

新磯地区では、誰もが安心・安全に暮らせる災害に強いまちを目指して、自主防災組織を中心に、地域の関係団体・機関と連携して、様々な取り組みを進めています。

地域特性に応じた独自の防災訓練を実施〈自治会連合会（4地区）〉

本年度、4地区（上磯部・下磯部・勝坂・新戸）の各自治会連合会において、それぞれの地域特性に応じた実践的な防災訓練が行われました。

地 区	年月日	訓練内容
上磯部	H27.11.22	防災講話・初期消火訓練（水消火器操作） 救出訓練（ジャッキ操作）
下磯部	H27.11.15	避難訓練（リアカー・車椅子操作）・情報伝達訓練 初期消火訓練・救助訓練（ジャッキ操作他）
勝 坂	H28. 2.21	避難訓練・初期消火訓練 救護訓練（防災シート・三角巾取扱い）
新 戸	H27.11.22	救護訓練（三角巾・AED取扱い） 救出訓練（車椅子・担架・救助工具・ジャッキ操作他）



上磯部



下磯部



勝坂



新戸

災害時要援護者支援の推進〈自治会、地区民生委員・児童委員〉

新磯地区では、平成25年度より、災害時要援護者の方々が必要な場所に避難するための支援体制づくりに取り組んでいます。

本年度は、自治会長と民生委員・児童委員による「情報交換会」を実施し、先行して支援体制づくりに取り組んでいる自治会の取組状況や課題等について、話し合いました。

■先行して取り組んでいる自治会

上磯部上・上磯部中・上磯部下・上磯部西ヶ谷戸・
下磯部四ツ谷下・下磯部東の下・下磯部上の原・
すずかけ台・勝坂上・勝坂下・新戸陣屋小路・
南町パレス翔自治会

関係団体・機関によるワークショップの実施〈新磯地区防災連絡協議会〉

地区内39の関係団体・機関による「新磯地区防災連絡協議会」（平成24年11月設置）において、本年度、ワークショップ形式により、図上で災害危険箇所の把握や避難経路の確認、各施設の災害対応などについて、情報交換や意見交換が行われました。



『新磯見守りステーション』の設置〈新磯地区社会福祉協議会〉

平成27年10月1日より、地区の新たな仕組みとなる『新磯見守りステーション』がスタートしました。

この制度は、見守りを希望される80歳以上の高齢者を対象に、民生委員・児童委員と地域の協力者が「見守り員」となって、日常生活の中での戸別訪問や声かけ、外からのさりげない見守りなどを行うものです。

現在、地域の見守り希望者の受付と、見守り協力者の募集が行われています。



助け合いとお互い様が温かい人とまちを創る

～ 新磯地区自治会連合会 ～

自治会への加入はお気軽に下記へご相談ください

新磯地区自治会連合会事務所

（住所）南区磯部 916-3 新磯まちづくりセンター内

（電話）046-251-0014 （FAX）046-254-0924

＜キリトリ＞

自治会加入申込書

○自治会へ加入を申し込みます

平成 年 月 日

世帯主

住 所

T E L

*この用紙を、自治会長（または班長）宅、または新磯まちづくりセンター（磯部 916-3）へお持ちください。